

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社イノベーション
コード番号 3970

上場取引所 東

URL <https://www.innovation.co.jp/ir/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者(氏名) 富田 直人
(CEO)兼最高執行責任者(COO)

問合せ先責任者(役職名) 取締役 最高財務責任者(CFO) (氏名) 山崎 浩史 (TEL) 03(5766)3800

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	1,047	—	△74	—	△71	—	△54	—
30年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △54百万円(—%) 30年3月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△27.50	—
30年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成31年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	1,034	805	77.9
30年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 805百万円 30年3月期 ー百万円

(注) 平成31年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	—	13	—	13	—	5	—	2.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成31年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	1,964,200株	30年3月期	1,950,600株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	—株	30年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	1,964,045株	30年3月期3Q	1,937,756株

(注)当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、株式会社アンチパターンを設立し事業開始に伴い重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より連結決算へ移行しております。

資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前期末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済対策及び日本銀行による金融緩和策を背景として企業収益が改善する等、緩やかな回復基調が続いているものの、米中間の貿易摩擦や、北朝鮮、中東、ロシアなどの不安定な国際情勢を背景に、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような環境のもと、当社は「1000万人の「働く」を変える」をビジョンに掲げ、平成28年4月から平成31年3月までをビジョン実現のための投資と拡大を図る成長加速期と位置付けております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、概ね計画通りに進捗し、順調に拡大いたしました。また、利益面においては、「ITトレンド」においてGoogle検索結果の表示順位が低下したことによる売上高の減少を補うための広告宣伝費、および技術開発部門への投資を予定していたことから下期偏重の計画としておりましたが、集客効率の回復の遅れから計画に届かない進捗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,047,734千円、営業損失は74,012千円、経常損失は71,643千円、親会社に帰属する四半期純損失は54,017千円となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(オンラインメディア事業)

オンラインメディア事業の主力である「ITトレンド」及び「BIZトレンド」においては、当第3四半期連結累計期間の来訪者数(延べ人数)(注1)は集客施策等へ積極的な投資を行ったものの、Googleの検索結果の表示順位が低下したことにより、3,676,687人となりました。以上の結果、オンラインメディア事業の売上高は814,110千円、セグメント利益は209,136千円となりました。

(注) 1. 当社が定める来訪者数(延べ人数)とは、アクセス解析ツール「Google アナリティクス」(注2)における「セッション数」(注3)を指しています。

(注) 2. 「Google アナリティクス」とは、Google LLC(グーグル)が無料で提供するWebページのアクセス解析サービスです。

(注) 3. 「セッション数」とは、「Google アナリティクス」における「セッション」の数を指しています。「セッション」とは、特定の期間にWebサイトで発生した一連の操作のことです。

(セールスクラウド事業)

セールスクラウド事業の主力製品である「List Finder」においては、提携会社による販売により、当第3四半期連結会計期間末のアカウント数は780件となったものの、アカウント当たりの単価が低下いたしました。以上の結果、セールスクラウド事業の売上高は233,624千円、セグメント利益は42,659千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,034,892千円となりました。この主な内訳は、現金及び預金654,614千円、売掛金160,530千円、その他の流動資産85,857千円、無形固定資産50,416千円及び投資その他の資産67,520千円であります。

負債につきましては229,138千円となりました。この主な内訳は、買掛金37,570千円、1年以内返済予定の長期借入金29,976千円、賞与引当金32,924千円、その他の流動負債100,806千円及び長期借入金26,765千円であります。

純資産につきましては805,753千円となりました。この内訳は、資本金341,267千円、資本剰余金320,677千円及び利益剰余金143,809千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成31年3月期第3四半期より従来の単体決算から連結決算に移行しました。平成31年3月期の連結業績予想につきましては、本日付けで公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	654,614
売掛金	160,530
その他	85,857
貸倒引当金	△157
流動資産合計	900,844
固定資産	
有形固定資産	16,110
無形固定資産	50,416
投資その他の資産	
差入保証金	26,265
その他	41,411
貸倒引当金	△156
投資その他の資産合計	67,520
固定資産合計	134,047
資産合計	1,034,892
負債の部	
流動負債	
買掛金	37,570
1年内返済予定の長期借入金	29,976
未払法人税等	1,096
賞与引当金	32,924
その他	100,806
流動負債合計	202,373
固定負債	
長期借入金	26,765
固定負債合計	26,765
負債合計	229,138
純資産の部	
株主資本	
資本金	341,267
資本剰余金	320,677
利益剰余金	143,809
株主資本合計	805,753
純資産合計	805,753
負債純資産合計	1,034,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	1,047,734
売上原価	598,400
売上総利益	449,334
販売費及び一般管理費	523,346
営業損失(△)	△74,012
営業外収益	
受取利息	3
協賛金収入	3,000
その他	290
営業外収益合計	3,294
営業外費用	
支払利息	373
創立費	355
その他	196
営業外費用合計	926
経常損失(△)	△71,643
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,643
法人税等	△17,626
四半期純損失(△)	△54,017
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,017

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△54,017
四半期包括利益	△54,017
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,017
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。